

市長就任のあいさつ



初登庁する町田市長

三期目の市長として再選された町田市長は、引き続き全力で市政の運営に取り組む姿勢を、市議会において次のように述べました。

私は、5月18日から三期目の市長として、引き続き市政を担当させていただくことになりました。ここに、就任の挨拶を申し上げるに当たり、責任の重さを改めて痛感いたしましたところであります。

今後の市政運営につきましては、皆様から寄せられました信頼にお応えすべく、新たな決意と情熱をもって、邁進してまいりますので、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私は、市長就任以来、常に市政の主役は市民皆様であることを基本に「市民のための市政・市民と共に歩む市政」を、市政運営の基本姿勢として努力をしております。これからも開かれた市政を一層推進し、多様化するニーズと、時代の変化に即応した市政運営に努めるとともに、地域の特性や歴史を生かした、個性的で活力あるまちづくりに、議会をはじめ市民皆様のご協力をいただきながら、事業の展開を図ってまいり所存であります。

ところで、自治体を取り巻く社会・経済環境は依然として厳しい状況にあり、財政運営も深刻さを増し、厳しい市政運営を余儀なくされておりますが、自治体はどのような状況にありましても、自ら財政の健全化と行政改革に努めながら、課題の解決に果敢に対処していかねばならないと考えております。

私は、これまでの経験を生かしながら、確固たる決意をもって、市民福祉の向上と地域の振興に努め、活力ある自立性に富んだ狭山市づくりに専心努力をしております。特に、市民皆様の長年の強い要望でもあり“市の顔づくり”としての視点から、最重要事業の一つであります、狭山市駅西口再開発事業をはじめとする都市基盤整備事業や、保健・福祉・医療のさらなる充実、また、環境の保全とIT時代における商工業の活性化対策、そして教育問題など、これまでに進めてまいりました、各分野にわたる諸事業のさらなる充実と、計画の早期実現のため、今後も職員の英知を結集し、一丸となって全力で取り組んでまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます、三期目の市長就任の挨拶とさせていただきます。

地球環境に配慮した環境行政に取り組んでいます

近年、地球温暖化が大きな社会問題となつています。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は、このままでは地表の平均気温は21世紀末までに1.4～5.8度も上昇すると予測しており、異常気象の発生、生態系への影響、マラリアなどの感染症や浸水被害を受ける人口の増大など、人間社会に大きな影響があるとしています。地球温暖化を防止するには、その原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出が市民生活や企業活動に密接に關係しているため、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会・経済システムの変革が必要です。そのために、市民生活や企業活動に密接した地方自治体は、地域の温暖化対策の大きな役割を担い、地域の自然や社会的条件に心じて、きめ細かい地球温暖化対策を実施していくことが期待されています。

狭山市の取り組み

市では、これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄の社会システムを見直し、自然と調和したリサイクル型社会の実現に向け、平成8年11月2日に全国で3番めとなるリサイクル都市宣言を行うとともに、平成9年度には環境基本計画を策定し、地域環境のみならず、地球環境保全に向



入間川のサイクリングロード

市役所のISO14001の取り組み

市では、次の3項目に取り組んでいます。

日常の事務活動等における環境配慮

日常の事務活動などにおける環境配慮として、温室効果ガスの排出抑制に市役所として率先して取り組んでいます。

市庁舎の環境設備の適正管理

市役所本庁舎の環境設備(冷温水発生機など)において、環境負荷の低減や省エネルギー、リサイクルを含め適正な管理に努めています。

施策・事業における環境配慮

環境の保全・創造を目的とする市の施策や事業、公共工事について環境に配慮しています。

平成13年度の日常の事務活動等における環境配慮・取組結果
本庁舎

取組事項	単 位	平成11年度	平成13年度	削減率
温室効果ガス	Kg-CO ₂	1,188,799	1,103,552	-7.2%
庁用車の燃料	ℓ	86,390	76,090	-11.9%
都市ガス	m ³	122,232	91,121	-25.5%
電気	kwh	1,912,272	1,895,688	-0.9%
紙	枚	2,809,644	2,103,393	-25.1%
ごみ	g/1人1日	207	85	—

本庁舎以外の公共施設(小・中学校を除く)

取組事項	単 位	平成11年度	平成13年度	削減率
庁用車の燃料	ℓ	34,832	30,840	-11.5%
LPG	m ³	32,700	21,944	-32.9%
都市ガス	m ³	203,951	174,878	-14.3%
A重油	ℓ	338,590	247,158	-27.0%
軽油	ℓ	3,341	2,673	-20.0%
灯油	ℓ	1,092,795	1,070,407	-2.0%
電気	kwh	19,978,649	19,281,409	-3.5%
紙	枚	1,347,165	1,138,733	-15.5%
ごみ	g/1人1日	96	64	—



昨年11月2日に全国初めて実施した「ノーレジ袋デー」

けた取り組みを行うことを定めまし
た。さらに、平成12年6月9日には環
境管理の国際規格であるISO14
001を認証取得し温室効果ガスの
削減に努めるほか、新設公共施設へ
の太陽光・太陽熱などの自然エネ
ルギーの導入、地域における貴重な緑
地の保全を率先して実行するなど、
積極的に取り組んでいます。

全国初のノーレジ袋デーを実施し
ました。さらに今年6月からは毎月
2日をノーレジ袋デーとしたほか、
生ごみリサイクルのモデル事業や地
域での試行収集、剪定枝のリサイク
ルを行っています。また、家庭で簡単
に取り組める地球温暖化対策として
環境家計簿の実施など、ライフスタ
イルの転換を促すための取り組みを
積極的に展開しています。

今後の展開

今日、地球温暖化に代表される地

671
問い合わせ環境政策課へ内線3

新環境基本計画の策定にあたり、幅
広いかたの意見を計画に反映するた
め、環境問題に関心のあるかたを募集
しています。
対象市内在住、在勤の環境問題に関心
のある個人、事業者で6月1日現在、18
歳以上のかた 申し込み応募用紙環
境政策課、公民館、出張所、図書館に用
意。狭山市公式ホームページからもダ
ウンロードできます(必要事項を記
入し、環境政策課へ)

球環境問題が深刻化し、市民と密接
に連携した自治体の取り組みがま
ます重要視されています。こうした
状況を踏まえ、市では地域環境の保
全はもとより、地球規模での環境保
全に率先的かつ継続的に取り組むた
め、今年度、現環境基本計画を見直
し、新環境基本計画を策定します。
かけがえのない自然を次の世代に
引き継いでいくためにも、環境問題
が私たちの日常生活や事業活動と深
く結び付いていることを踏まえ、社
会経済活動やライフスタイルを見直
すなど、市民、事業者の皆さんのより
一層のご協力をお願いします。